

<p style="text-align: center;">知的自由理念の沿革と現代的意義 2</p> <p style="text-align: center;">《2015 年度以前入学生は、メディアと知的自由Ⅱ》</p> <p style="text-align: center;">History and Present Significance of Intellectual Freedom #2</p>	<p>(教員名) ＜山本 順一＞</p>	
<p>知識情報基盤研究分野 探究科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2017 年度・後期集中</p>
<p>I 科目の主題</p> <p>個々人が必要とする情報への安全なアクセスを確保しようとする‘知的自由’理念は、報道の自由、情報公開制度、プライバシーの権利などと密接な関係をもっています。また、‘知的自由’理念は、保守的イデオロギーを内包する全体主義に対抗する民主主義的人材を育成する‘批判的建設的思考’(critical thinking)の基盤でもあります。このような知的自由を要とする概念的連関のイメージを学び取ることこそこの科目のテーマです。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>‘知的自由’理念と構造的・機能的に密接な関係をもつ諸理念、諸制度についての社会経済的緊張の文脈を理解し、それぞれの理念、制度についての普遍的意義とサイバーソサイエティにおける変容について一定の認識をもつことをこの授業の目標とします。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>関連する事件の発生、トピックの出来^{しゅつたい}によって変更することがありますが、一応の授業計画を示します。この授業は、主として演習形式で行います。</p> <p>第1回～第3回 ‘知的自由’理念の沿革、構造の再確認と並行・派生的生成・発展理念の系譜 第4回～第6回 ‘情報公開’制度、プライバシー理念の歴史と現状 第7回～第9回 ‘批判的建設的思考’(critical thinking)と民主主義社会の人材育成 第10回～第12回 高度情報通信ネットワーク社会の情報共有、オープンネス、透明性 第13回～第15回 まとめ：‘知的自由’理念の拡大・進化のプロセス</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>集中講義の開始に先立ち関係資料を配布しますので、事前に学習しておくこと。また、事後には授業で学んだことを復習しつつレポート作成にあたること。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>授業終了後、所定の期日までに提出されたレポートにより評価するものとしますが、授業中の発言、履修態度などもあわせて総合的に評価します。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>事前に取り上げる資料を学習したうえで授業に参加し、授業ではそれぞれの経験を踏まえて自分の所見をしっかりと述べ、議論をたたかわせるよう努めてほしい。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>集中講義の開始に先立ち関係資料を配布します。</p>		